

神田警察通りの街路樹を守る会 意見

○ 明大通り協議会から学ぶこと

話し合い（ワークショップ方式）を続けて、皆が受け入れる結論に至る
結果的にアダプト制度をやりやすくする

グリーンウォッシュ（見せかけの環境配慮）にならないように

○ 街路樹について

神田警察通り 2 期のイチョウ ⇒ 「老木」ではなく、全て元気

ヨウコウザクラ ⇒ 下枝が通行の妨げになる、温暖化対策にならない

イチョウ ⇒ 防災効果大

○ 秋の「いちょう祭り」の提案

千代田区は環境モデル都市（低炭素化と持続的発展を両立する地域モデル）として

今ある街路樹を活かし「春はサクラ、秋はイチョウ」を愛でよう

○ 車いす走行時の道路

車いすがすれ違う時は、必ず譲り合う。幅の問題ではない

1 期のような緑陰が必要

○ 沿道住民の思い

各地域に持ち帰り、住民の気持ちを聞いて欲しい

沿道にしこりを残さないよう、十分な話し合いが必要

○ 街路樹について話し合う場「街路樹部会」を提案

これまでの協議会のあり方に疑問

話しやすい雰囲気

何かを生み出す場に

○ マスタープランの「つなぐ街」にするために

神田が焼け野原になった戦争時から未来へ、街路樹がつなぐ

神田と周辺地域をイチョウ並木がつなぐ

街の多様な人々の声を聞き、住民たちをつなぐ

今後も話し合いを続けて、神田に縁ある人々の思いをつなぐ

